

神高SSH通信2016

Science Conference in Hyogo 7月16日(土)開催!

サイエンスカンファレンス in 兵庫は、科学の研究内容を英語でプレゼンする発表会です。昨年度は3月に行い、県内10校から約100名の高校生が発表に参加しました。神戸大大学院の教授による特別講義もあります。聴衆としての参加も大歓迎です。

1 参加予定者
県内の高校生・高専生 高校教員 ALT 大学教授 大学生・大学院生

2 実施日時 スケジュール

2016年7月16日(土) 10:30~15:15 (サイエンスカフェ 15:30~16:30)

10:00 受付

10:30 開会式

10:40~11:30 特別講義 神戸大学大学院理学研究科物理学専攻 山崎 祐司 教授
"Why are we heavy? – The LHC experiment and the mystery of Higgs"

11:30~12:30 昼食

会場設営 (発表の準備)

12:30~15:00 プレゼンテーション

15:00~15:15 講評 閉会式

15:30~16:30 サイエンスカフェ (4Fロビー) 「サイエンスフレンドシップ事業」
大学生・大学院生との交流

3 会場 神戸大学統合研究拠点コンベンションホール

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町7丁目1-48
ポータルライナー「京コンピュータ前」駅より徒歩1分

4 参加について

(1) 参加費は無料です。

(2) 発表を希望する場合は6月24日(金)までに総合理学部職員に連絡して下さい。
また、詳細を知りたい人や聴衆としての参加を希望する人には要項を渡します。

昨年度の様子 神戸高校から9つの発表班が参加しました。



第3回SSH特別講義に参加しよう！

今回は、神高30回生で国立循環器病研究センターの柳本広二先生に脳神経科学の講演をして頂きます。平日の放課後ですので、普通科・総合理学科を問わず参加できます。医学部等の進路を希望する人は是非参加して下さい。

題目： 「脳機能を高め、健やかな体を作る脳神経科学」
ー脳と体を強化する脳由来神経栄養因子(BDNF)の増やし方ー

講師： 柳本 広二 (やなもと ひろじ) 先生

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 研究所 疾患分子（脳外科）研究室 室長
医学博士、脳神経外科専門医、脳卒中専門医
京都府立医科大学卒 京都大学大学院
米国ヴァージニア大学ヘスサイエンスセンター・リサーチフェロー
神高30回生

目的： 医学部を卒業後、医師としての経験もあり、現在、生命科学の最先端で研究活動をおられる先輩の講演を聞き、最新の研究成果に触れること、科学への憧れや希望をはぐくむ。また、単に医学部に進学するという進路希望ではなく、進学後のビジョンを組み立てる機会とする。

内容： 寝ても起きてても、気付いていても気付いていなくとも、いつもお世話になっている[脳]には、いつも、いつまでも、元気でいてほしいものです。脳が元気でいられる期間《寿命》は、生まれた時点で決まっているのかもしれませんが、その元気度を高める手段はありそうです。
脳が脳の中に作り出す分泌性タンパク質、“脳由来神経栄養因子：BDNF”（ここでは便宜上、“脳の元気の素”と呼びます）には、神経同士が繋がろうとする（縁結びの）力と、その可塑性（機動力）を高める働きがあります。“脳の元気の素”を増やしたラット・マウスでは、1. 記憶力が向上し、2. うつ病への抵抗力が増し、3. 糖・脂質代謝が改善し、4. 脳卒中の後遺症が軽くなっていました。“脳の元気の素”が増えて、脳の中の「縁結びと機動力」が高まることで、脳はより強く逞しくなっています。日常生活でできる、および、現在開発中の、“脳の元気の素”の増やし方、を解説します。

日時： 6月29日(水) 講義15:30～16:40（その後、質疑応答など）

場所： 視聴覚室（科学館1階）

対象： 総合理学科・普通科希望生徒(医学部等進路希望者向け)

昨年度の様子



.....切り取り.....

6月29日（水）の第3回SSH特別講義に参加します。

（ ）年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

提出締切6月15日（水） 総合理学部職員室まで